

セメント系無収縮モルタル

水中不分離性混和剤混入型 プレミックスタイプ

太平洋

プレユ-ロックス<sup>®</sup> LC-MIX



PRE U-LOX LC-MIX

太平洋プレューロックSLC-MIXは、弊社が保有するセメント系無収縮グラウト材技術と、水中不分離性混和剤技術を合致させた製品です。

プレミックス製品であるため、現場で所定水量と練混ぜるだけで、水中不分離性を有すグラウトモルタルを得ることが出来ます。なお、無収縮性の基材として酸化カルシウム系膨張材を使用していますので、海中に施工した場合でも安定した硬化体性状が期待できます。

## 特長

- 1 水中不分離性**  
特殊水中不分離性混和剤「太平洋エルコン」を混和しているため、水中不分離性に寄与します。
- 2 水質汚濁の防止**  
優れた分離低減効果により、工事周辺での水質汚濁を最小限に抑えます。
- 3 プレミックス・高流動性**  
プレミックスタイプのため、現場で煩雑な計量作業が不要です。水中不分離性を有しながらも高い流動性を示します。
- 4 ノンブリーディング・無収縮性**  
充填後のブリーディングが発生しないため、硬化後の空隙処理が不要です。また、酸化カルシウム系膨張材を適量混和しているため、海水中でも安定した無収縮性を示します。
- 5 高強度**  
水中作製供試体においても、安定した高い強度発現性が期待できます。



荷姿：20kg/袋

太平洋プレューロックSLC-MIX	
全塩素量	0.012%

試験方法：JIS R 5202「ポルトランドセメントの化学分析方法」に準拠

## 標準配合例

区分	使用温度範囲 (°C)	太平洋プレューロックSLC-MIX (kg)	練混ぜ水量 (kg)	練上り量 (ℓ)
単位量 (kg/m <sup>3</sup> )	5~35	1,620	413	1000
現場配合 (1袋)		20 (1袋)	5.1	約12.3

注1) 1m<sup>3</sup>あたり太平洋プレューロックSLC-MIXの必要量は約81袋です。

注2) 外気温度、材料温度等により目標とする流動性を得るための水量が若干増減しますので、試験練り等で確認して下さい。  
練混ぜ水量は、4.6~5.4kg/袋を目安として調整して下さい。

注3) 目標とする練上げ直後のコンシステンシー（流動性）は、テーブルフロー値で200~300mm程度を目安として下さい。

## 水中でのモルタルの状況

太平洋プレューロックSLC-MIX

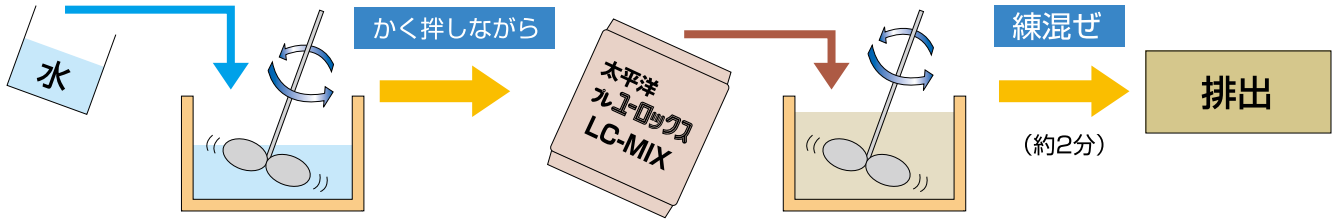


普通モルタル（エルコン無添加）



普通モルタルと比較して、優れた水中不分離性を有します。

使用方法



- ・使用量を正しく計量して下さい。
- ・練混ぜは必ず機械練りして下さい。  
(ハンドミキサ、高速グラウトミキサ等)

- ・太平洋プレユーロックスLC-MIXを徐々に投入して下さい。
- ・練りダマが残らないよう注意して下さい。

- ・練り後のコンシステンシー(テーブルフロー値)が200~300mmの範囲である事を確認して下さい。

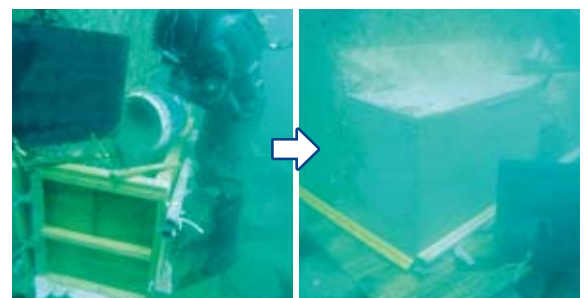
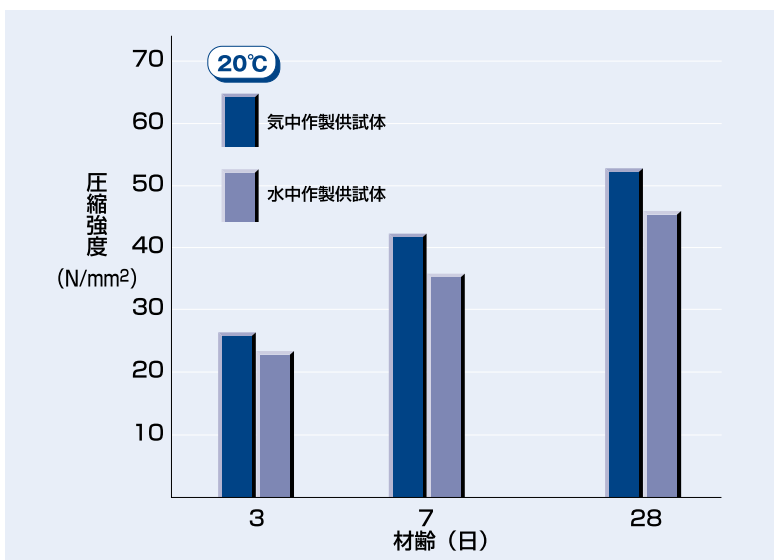
特性例

太平洋プレユーロックスLC-MIX (kg)	養生温度 (°C)	練混ぜ水量 (kg)	テーブルフロー値 JISコーン 引抜き5分後	ブリーディング率 (%)	気中作製供試体・圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )			水中作製供試体・圧縮強度 (N/mm <sup>2</sup> )		
					3日	7日	28日	3日	7日	28日
20 (1袋)	5	5.3	230	0	9.3	28.6	48.4	7.9	24.3	41.1
	20	5.1	255	0	26.3	41.0	51.9	22.6	35.7	45.2
	30	4.9	280	0	35.3	45.2	53.6	30.4	40.5	48.2

養生温度 (°C)	練混ぜ水量 (kg)	膨張収縮率 7日 (%)	静弾性係数 28日 (x10 <sup>4</sup> N/mm <sup>2</sup> )	凝結時間 (h-min)	
				始発	終結
20	5.1	+0.30	2.02	17-30	18-30

テーブルフロー値 : JIS R 5201に準ずる。(15回の落下運動行わず)  
 ブリーディング率 : JIS A 1123に準ずる。  
 圧縮強度 : JIS A 1108に準ずる。(試験体寸法 : φ5×10cm)  
 水中作製供試体の作り方は、JSCE-F 504に準ずる。  
 膨張収縮率 : JSCE-F 542に準ずる。(マイクロメータによる)  
 静弾性係数 : JSCE-G 502に準ずる。  
 凝結時間 : JIS A 1147に準ずる。

水中気中圧縮強度の関係



打設

完成

海外営業部	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階	☎03-5832-5226
北海道支店	〒060-0004 北海道札幌市中央区北4条西5-1-3 日本生命北門館ビル	☎011-221-5855
東北支店	〒980-0804 宮城県仙台市青葉区大町1-1-1 大同生命仙台青葉ビル	☎022-221-4511
北東北営業所	〒020-0034 岩手県盛岡市盛岡駅前通16-15 保科済生堂ビル2F	☎019-908-2400
東京支社	〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー16階	☎03-5832-5242
中部支店	〒453-0801 愛知県名古屋市中村区太閤3-1-18 名古屋KSビル	☎052-452-7141
北陸営業所	〒920-0919 石川県金沢市南町5-20 中屋三井ビルディング	☎076-234-1670
静岡営業所	〒422-8062 静岡県静岡市駿河区稲川2-2-1 セクスイハイムビルディング8C	☎054-685-8333
関西支店	〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2 類ビル	☎06-7668-6001
中国支店	〒732-0828 広島県広島市南区京橋町1-23 三井生命広島駅前ビル	☎082-261-7191
四国支店	〒760-0050 香川県高松市亀井町7-15 セントラルビル	☎087-833-5758
九州支店	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神4-2-31 第2サンビル	☎092-781-5331
鹿児島営業所	〒890-0052 鹿児島県鹿児島市上之園町24-2 第12川北ビルBOIS鹿児島	☎099-812-7131
沖縄営業所	〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地2-22-10 那覇第一生命ビルディング	☎098-867-9663

## 使用上の注意事項

- ①本製品を水中部施工用途以外には使用しないで下さい。
- ②練混ぜ温度は、5～35℃の範囲として下さい。なお、夏場などの施工箇所が高温である場合には、材料を出来るだけ気温の低いところに保管し、あらかじめ冷却した練混ぜ水でモルタルの練上り温度がなるべく30℃以下になるようにして下さい。
- ③練混ぜは機械練りで2分程度とし均一に練混ぜて下さい。アルミ製羽根のハンドミキサーで練混ぜを行うと、アルミ部材が磨耗し、施工後モルタルが異常膨張することがありますので使用しないでください。
- ④充填中は必ず充填状況の確認をして下さい。充填後、露出部分は湿潤養生を行って下さい。
- ⑤高温時(30℃以上)の施工の際は、本製品に直接日光等が当たらないよう措置を講じて下さい。
- ⑥硬化後、モルタル表面が露出する箇所や拘束条件が不十分な箇所においては、乾燥等によるひび割れが発生する場合がありますので、適切な養生を施して下さい。
- ⑦材料の保管には、雨露等がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等を敷き床面から離れた状態でビニールシート等で覆って下さい。
- ⑧本カタログ記載外の用途に使用される場合は、ご使用者側にて調査検討の上、御不明な点は弊社まで御相談下さいませようお願いします。



## 安全上の注意事項



本製品はカタログに記載されている方法でご使用下さい。

- 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼・鼻・皮膚及び衣類に触れぬよう保護具を着用の上で使用下さい。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水で充分洗浄した後、医師の治療を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを起こすことがありますので、直ちに水洗いして下さい。
- 作業後は手洗い、うがいをして下さい。
- 本製品および施工後の洗浄水等は、海・河川・下水道等への廃棄はしないで下さい。

※水中不分離性コンクリート用途には、弊社製「太平洋エルコン」を御用命下さい。

- 本製品の仕様は予告なしに変更することがありますのでご了承願います。
- 本カタログに記載された事項は、弊社の実験結果に基づくものでありますが、各種条件により実際の現場結果を確実に保証するものではありません。

